

「協調」をテーマに 第五回通学合宿

鶴田にぎりまんま塾

九月二十三日(火)～二十七日(土)、鶴田町公民館で、四泊五日の通学合宿「にぎりまんま塾」が開催されました。今年は町の五つの小学校から五、六年生の二十八人(男子九人、女子十九人)が塾生として参加し、弘前大学の学生十六人を含め、延べ四十人の指導員のもと、親元を離れた共同合宿生活を体験しました。参加した子どもたちは、親のありがたさ、今回のテーマでもある「協調」の大切さ、食事の大切さなど、数えきれないたくさんのかことを学んで帰っていききました。そこで今回、合宿での子どもたちの様子について少しふれてみたいと思います。



しっかりと食事を取ることはこの合宿の基本

【合宿の目的】

- 保護者の手から離れ、子どもたちに実体験の場を提供する。
- 同世代の子どもたち同士が、協力し合いながら生活することによって協調性を育ませる。
- 買い物、料理、掃除、洗濯、布団の上げ下げなどを体験することにより自主性や

九月二十三日(火) 午前九時、保護者の方々に送られ、大きな荷物と布団、そしてランドセルを持って、公民館に参加者(塾生)たちが集まりました。開校式で長谷川塾長からみんなに助け合い協力し合う「協調」を目標に最後まで頑張ろうとあいさつがありました。開校式が終わると初めての活動である「寝床作り」です。なかなか一人で敷けない子に、隣りの子が助けてあげて二人で敷いています。初日の昼食は、家から持ってきたお弁当。これから四日間は家のごはんが食べられません。もったいなさそうに食べていたのが印象的でした。午後は、ジュニアリーダーが指導するゲーム研修と班別活動です。班別活動では、一班が買い出しと夕食の調理、二班が納豆作り、三班は清掃と班ごとに分かれて行動をしました。ここで目についたのが、昨年参加した塾生が積極的に取り組んでいる姿勢でした。初めて参加する塾生をリードする姿には感心させられました。夕食後は、体験活動「Tシャツ作り」の時間です。にぎりまんま塾のユニフォームとなるロゴが入ったオリジナルTシャツを全員で作りました。活動の締めくくりは、「学習の時間」(宿題、予習、復習、自主勉強の時間)。ここでは大学生の指導員が本領を發揮し、塾生に付きつきりで勉強を教えていました。

その翌日の朝から、本格的な「通学合宿」が始まっています。



①毎朝起きたらまずふとんをたたむ。②食事班以外は洗濯をする。③食事班は指導を受けながら全員分の食事を調理する。④調理で一番大変だったのがタマネギのみじん切り。この作業だけは男子がたくましい。⑤3日目の早朝、激励にきた中野町長が子どもたちが作った朝食をおいしくいただく。⑥お菓子やジュースなどない合宿生活では、常に食欲旺盛だった。(さようならパーティーにて)⑦買い物での一コマ、大量の食材買い、さらにそれをカゴから段ボールに詰め替える。⑧館内の清掃は、朝夕の2回行う。広い館内の掃除機掛けは大変な作業。⑨そば打ち体験の様子。上手な班の見よう見ま

①最終日のさよならパーティーで塾生たちからお世話になった大学生の皆さんへ感謝の気持ちを込めてお礼が渡される。②修了式では学長からひとり一人に修了証が授与される。③修了式で塾生代表の謝辞を述べる棟方健太君と長内美美さん④塾生、大学生、来賓およびスタッフ、父母での記念写真。塾生の表情が最初の頃よりひと回り大人びて見えた。



家の人の大変さが分かる朝

朝六時、眠い目をこすってまず食事班が朝食を作りに起きてきます。ドラドラと調理をしているのは学校に遅刻してしまうので手早く調理をしなければなりません。食事班以外は館内清掃をし、朝食会場の準備をします。朝食を食べ終えると身支度をし、各校全員揃ったらいざ学校へ。家にいる時とはまるで違う生活に、家の人のありがたさが身にしみて分かるのが朝です。

あいさつの励行

塾生は、朝起きると「おはようございます」、公民館を出発するときは「行ってきます」、学校から帰るときは「ただいま」と大きな声であいさつします。当然のようですが、最初のうちは、あいさつがきちんとできない子がいます。生活の基本ですので、開催中は、きちんとあいさつができるよう塾生に指導しています。

塾の基本は「食」から

塾では、「食」を基本にした生活が子どもたちには大切だと考えています。町の栄養士がバランスの良い献立を考え、鶴田産の安全で安心な食材を使用し、指導者からおいしい調理法を教わりながら食事を作り、そしてそれをしっかりと食べる。「食」の基本があるからこそ、にぎりまんま塾の目的が達成できるのだと強く感じました。

塾生の感想文から

胡桃館小五年 松山 梨紗

夜寝るときは怖くて、友達と一緒に寝せてもらったりしました。料理を作るときは友達と協力できて良かったです。

水元中央小六年 加賀谷 鈴華

学校が終わって、にぎりまんま塾に来て、みんなで協力して料理を作って、とても楽しく過ごせました。妹にもぜひ参加させたいです。

菖蒲川小五年 大林 祐之介



にぎりまんま塾に行って、掃除や料理の大変さがよく分かりました。

菖蒲川小六年 宮本 菜摘 (二班班長)



料理やそば打ちなどで班で行動するときは、ひとり一人ががんばっていたのがとても良かったです。

菖蒲川小五年 伊藤 優里花



なかなか生活に慣れなかったわたしを、大学生の人たちが、はげましてくれたり、応援をしてくれてとても幸せな気分になりました。

水元中央小 工藤 裕一



鶴田にぎりまんま塾 塾長 長谷川美保子さん

第2回の通学合宿（菖蒲川小学校長時代）から塾長として子どもたちの指導と指導員の統括を行う。今年3月に教職を離れ、現在、鶴田町放課後子どもプランのコーディネーターとして、またこの塾のプランナーとして鶴田町公民館を拠点に活躍。

【すばらしい出会いでした】

「協調」をテーマにスタートした今年の通学合宿。今回参加してくれた二十八人は、自主的に活動し、たくさんの友達をつくりたいという意欲にあふれていました。最初はドキドキ不安の一日目でした。

だが、一緒に買い物をしたり、仲間づくりのゲームをしているうちに、にぎりまんま塾の楽しさが分かったようです。寝食を共にし、たくさんの方々と触れ合ってくれて、わたしをいつまでも公民館に居たいという気持ちにさせてくれた子どもたちでした。素晴